



力作を展示 第50回笠松町美術展

11月7日から9日までの3日間、笠松中央公民館で、第50回笠松町民美術展が開催されました。

コロナ禍での開催となった今年の美術展は、会場入口にサーモカメラを設置するとともに、鑑賞中のソーシャルディスタンスの確保をお願いするなど、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上で開催され、日本画、水墨画、洋画、版画、書、彫塑・工芸、写真の各部門に166人から223点の作品が出品されました。参観者は会場を彩る力作に見入って、芸術の秋を堪能しました。



朝日大学ラグビー部の皆さんとラグビーの楽しさに触れる

11月11日、笠松小学校の4～6年生を対象に「タグラグビー」を体験する出前講座が開催されました。通常の「ラグビー」では、ボールを持つプレイヤーの前進をタックルで止めますが、「タグラグビー」は、タックルの代わりに腰につけたタグをとり合います。

当日は、朝日大学体育会ラグビー部の皆さんにラグビーボールの投げ方やルールを教わり、トライの練習などを行いました。大学生を上手にかわし、タグを取られずに華麗なトライが決まるたびに、会場は大盛り上がりでした。



皆さんの声を町政に 町政懇談会

皆さんのご意見・ご要望を広くお聴きし、今後の町政運営に反映させることを目的として、11月12日に町政懇談会を開催しました。

懇談会では、住民の皆さんと行政を結ぶパイプ役としてご協力いただいている町内会長の皆さんから、防災対策をはじめ、交通対策、道路など21項目にわたるご意見・ご要望が提出されたほか、町政についての意見交換を行いました。



災害に備えて 避難訓練を実施

11月12日、地震と火災を想定した避難訓練が松枝保育所で行われました。サイレンが鳴ると、先生の指示に従って机の下に潜ったり、防災頭巾をかぶったりして、安全に素早く避難する方法を確認しました。

避難完了後は、訓練に立ち会った羽島郡広域連合消防本部の消防士の方から火事を起こさないためのポイントを教わったほか、年長の園児は消防車による放水も体験しました。